

# User Report

ユーザーレポート

～0の証明～

バス

城南観光有限会社

## デジタコ、ドライブレコーダー、そしてALC-ZEROの活用。 三位一体の安全策で“当たり前”の土壌を培う。

今回で紹介する城南観光有限会社は、バス業界においていち早く、インターロック (ALC-ZERO) を導入した企業です。なぜALC-ZERO導入に至ったのか、その背景や運用上のポイント、安全運行に向けた体制づくりなどを、伺いました。

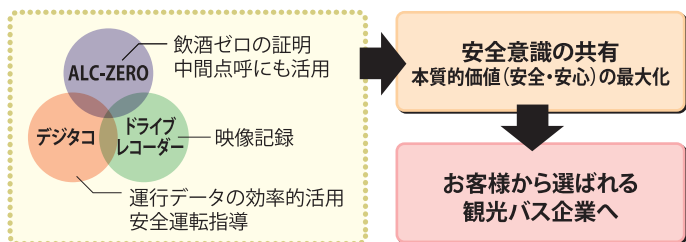
ご利用機器

アルコールインターロック装置

ALC-ZERO I

パソコン運動記録型測定器

ALC-PRO II



インターロックをバスに導入しているということで、当初は同業者さんからいろいろ心配もされました。「もし途中で動かなくなったらどうするんだ」と…。確かにそのことだけを考えれば、ある面でのリスクは高いかもしれませんが。しかし、本来の目的から考えたらどうでしょうか。安全をより確実なものにし、お客様に安心していただくためにインターロックはあります。少なくとも飲酒に関しては、ALC-ZEROで完全にシャットアウトできるわけですから。

実は当社では、ALC-ZERO導入以前、ALC-PROの時代から東海電子さんの検知器を使用し、前述の“当たり前”の土壌を培ってきました。また、人材募集面でも、接客業経験者を採用するなど、サービス業としての素地形成に配慮。です。ALC-ZERO導入時も社内での異論はほとんどありませんでした。もちろん導入以来、今日までそのようなトラブルはゼロです。

### 導入の経緯

### 観光バス＝付加価値サービスの最大化 安全も、他と同じでは生き残れない。

松本氏：当社の設立は、地元・三原市に広島空港が開業したのと同じ1993年。昨年20周年を迎え、当初3台だった車両も、現在では国内で希少な車両を含め24台になりました。



そんな当社が安全対策に本腰を入れ始めたのは、大型の送迎案件を受注し、一気に増車したのがきっかけでした。貸切バス事業は、乗務員がお客様と直に接し、安全・快適に旅行を楽しんでいただくサービス業です。競争激化の時代、「安全」も他と同じでは生き残れないし、他と同じでは面白くないというのが私の考え。そのため、デジタコ、ドライブレコーダー、そしてALC-ZEROをかなり早い段階から導入しました。乗務員の新規採用計画もありましたので、万全の安全対策を図り、それを当社にとって“当たり前”の企業文化にしようと考えたのです。

### 思わぬ効果 ALC-ZEROが新しい顧客を呼び込む

松本氏：バスツアーの場合、乗降時にお客様が他のバスでは見かけない機器 (ALC-ZERO) を見つけ、質問されることがよくあります。それで「これはアルコール検査をする機械で、もしアルコールを検出するとエンジンがかからなくなるんですよ」と説明すると、驚きと同時に安心されるんですね。「この会社はそこまでちゃんとやってくれているんだ」と。それが口コミで徐々に広がり、次のご指名をいただくこともあります。正直なところ、こうしたPR効果は予想外でしたが、安全を目に見える形で提示することが好結果を生んでいるのだと思います。

また、ALC-ZEROによるチェックは中間点呼にも活かせます。これを使えば、個々の乗務員にアルコール検査機器を携帯させる必要がありません。コスト、メンテナンス面でもメリットが大きいと、個人的には感じていますよ。

### 取材ご協力

城南観光有限会社

代表取締役

松本隆幸 様

〒729-0411

広島県三原市本郷町船木1599-2

TEL 0848-86-6183 FAX 0848-86-1890

URL <http://www.jounan-kanko.co.jp/>



取材  
後記

車両にしても装備品にしても、自らを「新しモノ好き」と笑う松本氏。その一方で乗務員一人ひとりのやる気や安全意識を高めるため、じっくりと向き合う姿勢も忘れない。「『悲惨な事故を二度と起こさないこと』は、バス業界全体の課題だ」という言葉が印象に残った。